

**平成24年度相模原市協働事業提案制度事業
藤野の歴史的建造物めぐり
(第9回ふじの里山古民家ツアー)**

「藤野の歴史的建造物めぐり事業」は、本市の協働事業提案制度で採択された事業で、これまでNPO法人ふじの里山くらぶと横浜国立大学大学院大野研究室が取り組んできた藤野地区の古民家等の調査、資料作成、イベントの開催などを行うもので、平成24年度から街づくり支援課が加わり、それぞれの役割を分担し、地域の宝である歴史的建造物を保全・活用し、地域振興に繋げるものである。

主催／協力

主催：藤野の歴史的建造物めぐり協議会（NPO 法人ふじの里山くらぶ、横浜国立大学准教授大野敏）、相模原市
協力：藤野商工会、藤野観光協会

講師

横浜国立大学大学院：大野敏先生、江口亨先生
大学院生（和泉君、荻原君、黄君）

日時

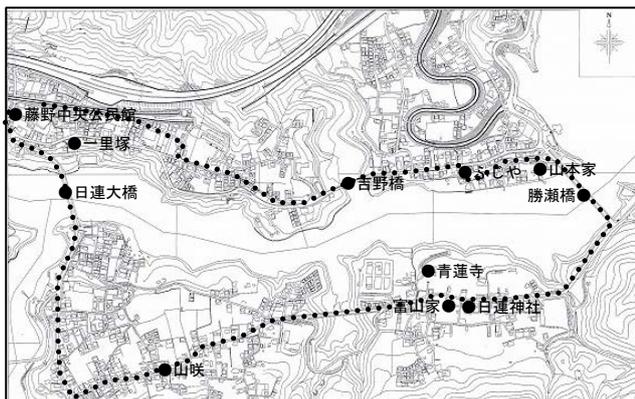
平成24年9月22日(土) 9:00~16:30

参加者／参加費

参加者：60名
参加費：2,000円（昼食、資料、保険代）

行程

藤野中央公民館（開会）⇒日連大橋⇒富山家⇒青蓮寺（山門・本堂・妙見堂）⇒日連神社（本殿・幣殿・拝殿）⇒昼食「山咲」⇒勝瀬橋⇒山本家⇒吉野宿ふじや⇒吉野橋⇒一里塚⇒藤野中央公民館（全体の集い）



●開会

主催者である藤野の歴史的建造物めぐり協議会永井会長、相模原市街づくり支援課長からあいさつの後、講師の横浜国立大学大野先生、江口先生、大学院生の紹介を行った。



●日連大橋

橋の概要

竣工：平成5年
長さ：236m
幅員：12~12.5m
構造：銅中路ローゼ桁橋 172m、単純銅板桁橋 17.8m、12径間連続曲線銅板桁橋 45.5m

アプローチ部分の単純銅板桁橋は曲線橋となっている。ローゼ桁橋のアーチ部がやや濃い水色で、その部材は薄い水色に塗装され、軽やかでリズムカルな印象を受ける。



●富山家

建築年代：天保11年（1840年）家伝
構造型式：桁行19.7m x 梁行11.4m
入母屋造（上手妻側）、入母屋兜（土間妻側）、茅葺鉄板覆い

家主の富山さんからユモアあふれる建物や地域の歴史に関わる説明、大野先生から建物の特徴の説明が行われた後、建物内・外の見学を行った。（建物の特徴と家主さんのお話し）

- ・屋号は「ミヤノコシ」、代々組頭を務めた。
- ・幕末期の大型民家で、重文石井家住宅と同じ整形六間取り。
- ・屋根形状は、上手妻側は豪勢な入母屋造り、土間側は光風が入りやすい入母屋兜造り。
- ・ミセには、現在では珍しい押板や大きな神棚などがある。



●青蓮寺（本堂、妙見堂、山門）

○本堂

建築年代：19世紀前期頃(建築様式から推定)

構造形式：桁行10間×梁行7間、背面半間張り出し、南向き、寄棟造・銅板葺、桁行54.15m、西南隅に玄関附属、銅板葺唐破風屋根

大野先生から建物の特徴の説明が行われた後、建物内・外の見学を行った。

(建物の特徴)

- ・6室型の住宅系仏堂平面で、正面に広縁があり、南隅に唐破風玄関がある。
- ・現在の屋根は銅板葺であるが、本来は茅葺ではないかと推察される。
- ・平書院や床の間の規模が雄大である点は、真言宗関東法談所の格式を示すものとして注目。



○妙見堂

建築年代：嘉永5年(1852)棟札

構造型式：間口三間×奥行二間、向拝軒唐破風付繁垂木、入母屋千鳥破風平葺造

大学院生の荻原君から建物の特徴の説明が行われた後、建物内・外の見学を行った。

(建物の特徴)

- ・半原大工・矢内但馬藤原高光の建築。
- ・内部の色鮮やかな彫刻や曲線天井が特徴的。



○山門

建築年代：18世紀初期

構造形式：1間四脚門、切妻造、鉄板葺、南面両袖に板塀、西袖塀に潜り戸付

大野先生から建物の特徴の説明が行われた後、建物外観の見学を行った。

(建物の特徴)

- ・切妻造・鉄板葺の1間四脚門、両側に袖板塀があり、片引戸形式の潜り戸がある。
- ・規模は桁行9尺・梁行9尺で、礎石上に親柱と控柱を立て、親柱頂部に組物を組み、冠木中央には墓股を配している。
- ・建築年代は明確でないが、虹梁などの絵様、墓股形式などから、1705年建設の日連神社本殿に遜色ないと考えられる。
- ・中心にはお寺のマークの卍字が刻まれている。



●日連神社（拝殿・幣殿、本殿）

○拝殿・幣殿

建築年代：拝殿・幣殿：文化7年(1810)、棟札

構造形式：拝殿：桁行3間×梁行2間、入母屋造・瓦棒銅板葺(元こけら葺か)、東面、正面1間向拝、正側面縁、正面3段

幣殿：桁行2間×梁行1間、妻入、寄棟造・瓦棒銅板葺、東面

隣地にお住いの富山さんから建物や地域の歴史に関わる説明、大学院生の和泉君から建物の特徴の説明が行われた後、建物外観の見学を行った。

(建物の特徴)

- ・拝殿は、桁行3間×梁行2間で、柱上の組物が太く、墓股も大振り、軒は吹寄垂木(2本組の垂木)で繊細な意匠となっている。
- ・幣殿は、桁行2間×梁行1間の妻入で、拝殿と合わせて逆T字形平面となっている。
- ・拝殿・幣殿は、大山大工・手中明王太郎の建築で年代も明らか。



○本殿

建築年代：宝永2年(1705) 棟札

構造形式：1間社流造、瓦棒銅板葺、東面

大野先生、大学院生の黄君から建物の特徴の説明、神社総代前田さんから地域に関わる説明が行われた後、建物外観の見学を行った。

(建物の特徴)

- ・相模川の南岸の独立した集落の日連地区の鎮守。
- ・拝殿の後ろにあり、全国的に一般的な神社様式である流れ造りである。
- ・桁には、大石神社と同じような渦巻き模様があり、四隅には、像の彫刻がある。
- ・拝殿・幣殿の後方を塙で囲い、その中央に石垣積基壇を築いている。
- ・妙玄鳥居というデザイン的にしゃれた鳥居がある。



●昼食「山咲」

お食事

- ・すいとん ・焼き魚 ・かきあげ
- ・混ぜご飯 ・お漬物 ・柚子の佃煮 など

おかみさんから、郷土料理のこんだての説明の後、数日前に行われた地域のお囃子のビデオを見ながら昼食をいただいた。

すいとんは、一晩おくと味がしみ込み、さらに美味しくなる。



●勝瀬橋

橋の概要

竣工：平成18年

長さ：270m 構造：斜張橋

ふじの里山くらぶ山崎さんから、昭和20年代に行われた旧勝瀬橋周辺で行われた「三太物語」の撮影でのエピソードなどの説明の後、相模湖の景観を望んだ。

(山崎さんのお話し)

- ・撮影の際、三太の代役として出演し、相模湖を泳いで横断する役を演じた。
- ・当時の報酬は、500円で大金だった。
- ・撮影には、山田五十鈴や宇野重吉などの俳優が訪れ、山本家に宿泊した。



●山本家

建築年代：明治6年頃(1873) 家伝

構造形式：桁行7間、梁行4間半、2階建、南面1階は西側面と背面に下屋付、切妻造・瓦棒鉄板葺(元板葺らしい)、桁行13.8m

大野先生から建物の特徴の説明、家主の山本さんからユーモアあふれる建物や疎開画家などに関わる説明が行われた後、建物内・外の見学を行った。

(建物の特徴と家主さんのお話し)

- ・吉野集落から勝瀬集落へ往来する渡し場のあった反田前地区に所在した農家でその後移転。
- ・戦中疎開画家が暮らしていた。
- ・主屋は、桁行7間x梁行4間半の2階建て、町屋形式の出し桁造りで、屋根は切妻造・瓦棒鉄板葺であるが、本来は板葺と思われる。
- ・当初から町家を意識して建築された切妻造・2階建養蚕農家の初期事例として貴重。



●郷土資料館ふじや（旧大房良顕家住宅）

建築年代：明治30年(1897)、「人足控帳」
構造形式：桁行8間、梁行5間、2階建、1階は背面に下屋付（後補）、切妻造・瓦棒鉄板葺（元板葺）、桁行14.4m

敷地南の相模湖側の玉石垣を見学しながら階段から上がり、建物内部に入り、管理人さんから建物や地域の歴史などに関わる説明、大野先生から建物の特徴や模型を用いた吉野宿に関わる説明が行われた後、室内の見学を行った。

（建物の特徴）

- ・明治29年の吉野大火まで「藤屋」の屋号で旅館業に従事し、大火の翌日から早速再建に取りかかり、翌30年中に竣工したと考えられる。
- ・屋根構造は、登梁で間隔の広い母屋桁を受けており、当初は板葺きと想定される。
- ・正面軒を出桁造とする点や「通り土間」的な庇屋根を設ける点などは、町家の特徴といえる。
- ・大正2年には、北白川殿下の宿営に対応した履歴がある。
- ・オクノマは、床・棚・書院を備えた正座敷で、天井も高く根太天井である。



●吉野橋

橋の概要

竣工：昭和8年

長さ：80m

幅員：6m

構造：鉄骨トラス橋



国道を自動車で通行しているときには、気が付かなかった、橋の構造、色彩、高欄形状などは特徴的。また、歩道から湖を望むとその高さに足がすくむ。

●一里塚（日本橋から17番目）

甲州街道の一里塚について、ふじの里山くらぶ星さんから、説明が行われた。現在では、国道20号沿道に榎木の大木が立っている。



●全体の集い

講師の江口先生、大野先生から、ツアーの総括が行われた後、参加者と大学院生から感想、意見などが述べられた。



事務局から

これまでの里山くらぶと横浜国大が行ってきた取組に街づくり支援課が加わった初めての古民家ツアーであったが、これまでどおり里山くらぶと大学は、地元調整や学術的な知識提供等を担い、行政は広報活動や団体や大学の支援など行い、それぞれの特性を活かし役割を果たせた。

また、参加者のアンケート結果は満足度が高かったと判断できる。今後とも、これらの資源の保全や地域振興に努めていきたい。